

「全学共通教育科目としての データサイエンス教育」

データに基づく意思決定を支える学問、
研究分野としてデータサイエンス(DS)が注目されている。
それに伴い、様々な専門性を有する大学で
DS教育の導入が議論されている。
学部や学科の設置を検討する大学も多いが、
人文・社会科学系の4学部からなる成城大学においては、
2015年度より全学共通教育科目としてDS科目群を設置し
その教育に取り組んできた。
その意義についてもう一度考え、全学共通教育科目としてのDS教育のあり方や
今後の方向性について、データサイエンティストとしてご活躍の外部講師を交えて議論したい。

日時

2020年 10月31日(土) 13:30 – 15:30

開催方法

Zoomを利用したオンライン開催 (参加無料)

参加対象

教育関係者(教員・職員等)、学生、一般の方

▶第1部 講演

「データサイエンスプロジェクトから考える分析スキル」

講演者：田村 光太郎 氏

(株式会社野村総合研究所 金融ITイノベーション事業本部 NRI認定データサイエンティスト)

▶第2部 パネルディスカッション

登壇者：田村 光太郎 氏

増川 純一 データサイエンス教育研究センター長

辻 智 データサイエンス教育研究センター特別任用教授

申込方法

下記専用フォームに必要事項をご入力の上お申し込みください。

<https://www.seijo.ac.jp/events/fdsd201031.html>

主催：成城大学データサイエンス教育研究センター

共催：成城大学教育イノベーションセンター

後援：世田谷プラットフォーム

●プログラム

13:30～13:35 開会挨拶 成城大学学長 戸部 順一

13:35～13:40 趣旨説明 成城大学データサイエンス教育研究センター長 増川 純一

13:40～14:40 講演

「データサイエンスプロジェクトから考える分析スキル」

データサイエンスのプロジェクトではデータサイエンティストと一言に言っても、プロジェクトごとに役割や分析領域はさまざまです。多くの分析プロジェクトでは、核心となるモデリング部分だけでなく、分析方針の設計～効果検証まで広く統計・機械学習の知識が求められます。本講演では、データサイエンティストが携わる分析プロジェクトの概観を紹介し、データサイエンス教育や産学連携の現場とデータサイエンスの現場の両側面からその役割・スキルや技術を考察します。

講演者：田村 光太郎 氏

株式会社野村総合研究所 金融ITイノベーション事業本部 NRI認定データサイエンティスト

【プロフィール】

東京工業大学科学技術創成研究院特任助教を経て、現職。専門は、複雑系物理学、非線形物理学、大規模データ分析。AI・機械学習の研究開発をはじめ、アナリティクス案件や産学連携等に従事。成城大学データサイエンス教育研究センター外部アドバイザー、データサイエンティスト協会企画委員などを務める。著書等「学生・技術者のためのビッグデータ分析入門」(日本評論社/共著)他。人工知能学会、日本物理学会、電気情報通信学会。博士(理学)。

14:40～15:25 パネルディスカッション (質疑応答含む)

登壇者：田村 光太郎 氏

増川 純一 データサイエンス教育研究センター長

辻 智 データサイエンス教育研究センター特別任用教授

15:25～15:30 閉会挨拶 成城大学副学長・教育イノベーションセンター長 杉本 義行

申込方法

下記の成城大学イベント案内ページの申込フォームより
10月25日(日)までにお申し込みください。

<https://www.seijo.ac.jp/events/fdsd201031.html>



参加申込の方には、後日(10/28頃に)ZoomのURL等の詳細をご連絡いたします。

成城大学データサイエンス教育研究センター事務室

☎：03-3482-1184 Email：ercds3-jimu_s@seijo.jp